

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年5月27日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	21.7	0.4 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.5 m <sup>3</sup> /h	28.4	3.59 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	25.1	0.25 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5
2号機	循環冷却システム	停止中	24.2
3号機	循環冷却システム	運転中	20.3
4号機	循環冷却システム	運転中	18.9

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/26 11:11 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/26 11:20 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/27 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>	ホット試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・5/24 23:18 ~ 点検手入れおよび性能向上のための改造準備工事を行うため、多核種除去設備全システムを停止。なお、点検はA・Cシステムを先行して行い、Bシステムは点検に伴い発生する排水やタンクレベル低以下のRO濃縮水の残水等の処理を行うため待機状態とし、A・Cシステム終了後に点検を行う。

・2015/5/27 9:15 RO濃縮水処理設備が対象としているRO濃縮水の処理が完了(タンク底部残水除く)し、処理運転を停止。これにより、2015年5月末に完了予定であった、タンク底部残水および海水成分の多いRO濃縮水を除いたRO濃縮水の処理が完了。

処理完了時点の多核種除去設備による処理水貯蔵量は約44万m<sup>3</sup>、ストロンチウム処理水貯蔵量は約18万m<sup>3</sup>。また、RO濃縮水のタンク底部残水は5/21現在で約9,500m<sup>3</sup>と推定。

同日10:51、増設多核種除去設備が対象としている海水成分の多いRO濃縮水の処理が完了(タンク底部残水除く)し、処理運転を停止。これにより、タンク底部残水を除く全てのRO濃縮水の処理が完了し、汚染水によるリスク低減という目的を達成。

なお、RO濃縮水のうち、事故後、早い段階で発生した海水成分の多いRO濃縮水については、カルシウム・マグネシウムの影響で、定格流量運転ができず、当初は処理に5月末からさらに数ヶ月を要すると想定していたが、処理が順調に進み、5/27に処理を終えたもの。

## < 5. その他 >

- ・2015/5/27～ 福島第一原子力発電所構内で設置している今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(以下、「フランジ型タンク」という)の解体作業を開始。当該タンクの解体作業にあたっては、ダスト飛散防止対策(仮設天板の設置や局所排風機の運転等)を実施するとともに、タンク内部の残水処理作業時やタンク解体作業時のダスト濃度測定を行いながら、慎重に作業を実施していく。
- ・5/27 14:17頃 福島第一原子力発電所構内の車両スクリーニング場に設置されているノッチタンクのフランジ部2箇所より、水の滴下があることを協力企業作業員が発見。  
水の滴下は、1秒に1滴と10秒に1滴程度で、滴下した水は堰内に留まっており、堰外への流出はない。  
なお、当該ノッチタンクには、Jヴィレッジにおいて車両の洗浄に使用した水を保管しており、放射能濃度は最大で約130Bq/L。今後、当該フランジ部について、養生等の処置を実施。
- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。  
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・3軽油タンクについては、2014/10/30から2015/3月の期間で点検を予定。点検に伴い、3軽油タンク内の軽油を全部抜き取るため、特定原子力施設に係る実施計画(以下、実施計画という。)章第2編第62条(非常用ディーゼル発電機燃料油等)の表62-1で定める運転上の制限(ディーゼル燃料油3軽油タンクレベル:2,180mm以上)を満足できない状態となるが、実施計画章第2編第74条(予防保全を目的とした保全作業を実施する場合)を適用し、あらかじめ必要な安全処置を定めた上で計画的に点検作業を実施する。あらかじめ必要な安全処置としては、3軽油タンクから補給を行っていた5A、5Bおよび6Aの各非常用ディーゼル発電機のディタンクに、6軽油タンクから補給を行えるようにするとともに、非常時の必要油量を確保するため、6軽油タンクレベルの設定値(運転上の制限値)を1,291mm上から2,346mm以上に変更。また、設定値(運転上の制限値)を逸脱しないように、6軽油タンクレベルの管理値を2,536mmとして運用。10/30 7:17に当該タンクの点検作業を開始。  
その後、2015/5/27、当該タンクの点検を終了。また、3軽油タンクの点検に伴い実施していた6軽油タンクから5A、5B及び6Aの各非常用ディーゼル発電機のディタンクに補給を行うための安全処置については、3軽油タンクからの補給ラインへ切替えを行うとともに、6軽油タンクレベルの設定値(運転上の制限値)を2,346mm以上から1,291mm以上に変更し解除した。なお、3軽油タンク及び系統からの漏えい等の異常がないことを確認し、同日13:00に実施計画章第2編第74条(予防保全を目的とした保全作業を実施する場合)の適用を解除した。

### [1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。  
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分にしながら慎重に進めていく。  
5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- ・屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を5/26頃から開始することとしていたが、原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置したバルーンが、所定の位置に設置されていないことが確認され、復旧に時間を要することから、屋根パネルの取り外し作業を延期する。なお、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動は確認されていない。  
建屋カバー解体作業に伴う放射性物質放出抑制対策として、開口部の面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える(少なく)ことを目的に設置。

**【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】**

【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。  
5/27 立坑A、Dについて充填完了。

【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

**【地下水バイパス揚水井の状況】**

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

**【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】**

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上